

名古屋音楽大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム 取組概要

学修成果

学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能をもとに人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意志でAI等の恩恵を享受し、これらを説明し、活用できるようになる。

教育プログラム修了要件

プログラムを構成する教養教育科目「数理・データサイエンス・AI入門」2単位、教養共通科目「情報社会※」2単位の合計4単位以上を取得すること。

対象学生

全学部全学科を対象とする。

認定証明

プログラムを修了した学生には、修了証明書を発行。就職活動等において活用されることが想定。

教育プログラム課程およびモデルカリキュラムの網羅内容

対象科目	単位数	<導入> 社会におけるデータ・AI活用						<基礎> データリテラシー			<心得> データ・AI活用における留意事項	
		社会で起きている変化	社会で活用されているデータ	データ・AIの活用領域	データ・AI活用のための技術	データ・AI活用の現場	データ・AI活用の最新動向	データを読む	データを説明する	データを扱う	データ・AIを扱う上での留意事項	データを守る上での留意事項
数理・データサイエンス・AI入門	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
情報社会 ※	2	○	○	○		○		○	○	○	○	

※同朋学園内大学間単位互換の協定により同朋大学の開設科目を履修。

プログラムの改善・進化、および、自己点検・評価を行う体制と役割

FD委員会

- ・教育方法の研究及び授業改善に加え、全学的な普及、関連科目及び環境の整備について議論する。
- ・授業理解度アンケート等を実施し、本教育プログラム履修生の全体的な理解度、修業意欲を把握し評価を行う。